



ときとし
 時と歳とを己の権内に置き給いし万物の造成主よ、
 爾の恩澤を以て年に冠らせ、生神女の祈祷に因りて、
 我が国と爾の城邑とを平安に守りて我等を救い給え

——新年のトロパリ——

正教会の新年祈祷のトロパリ（テーマソング）の中に出てくる「爾の恩澤を以て年に冠らせ」というフレーズは、新年感謝祈祷の中でも読まれる第64聖詠（詩編65編）から取られている。「雨と豊作」が主題であるこの聖詠は旧約時代において「収穫の感謝祭」の時に使用されたと言われている。

「爾の恩澤を以て年に冠らせ、爾の歩みには膏、滴る」（64:12）

ここにある「恩澤」とは何だろう。ヘブライ語では「トープ」といい、「善」とか「美」を意味する。また「幸福」「親切」「憐れみ」「恵み」なども訳される。

ギリシャ語では「クリストティス」といい、「善い」とか「慈しみ」を意味している。これを正教会は64聖詠において「恩澤」と訳した。「澤（沢）」は、「めぐむ」「なさけ」などの意味もあるが、基本的には「うるおす」という意味である。穀物にうるおいを与える「水」が主題であるこの聖詠にふさわしい訳語と言える。

「年に冠らせ」とは、新年を迎えた日に神様が御自分の恩澤（善、美、憐れみ、恵み、潤い）を冠のように被せてくださる、という意味。「一年」という時間を擬人化している。冠を被せられた人にとって、その冠はその人全体を祝福するものであるように、年頭に被せられた神様の「恩澤」は、この一年全体への祝福となる。自分の一年の頭にも「恩澤」を冠せていただくため、ぜひ新年感謝祈祷に参拝しよう。（D）



仙台正教会
 教会だより

2025年
 1月号

〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四二〇
 仙台ハリストス正教会
 TEL 022-251-2744
 FAX 022-241-3080
<http://www.sendai-orthodox.jp>
orthodox@hyper.ocn.ne.jp

音のような時間の中で

長司祭 ダヴィド水口優明



我等は我が歳を失うこと音の如し。…蓋その過ぐることに速やかにして我等飛び去る。

(聖詠 89:8・10)

時間は「あっ」という間に過ぎていく。これは何も多忙な現代人の感覚だけでなく、今から三〇〇〇年も前の聖詠(詩編)の作者ダヴィドも、私たちの人生は「音」のように過ぎ去り、時間の中で自分達は飛び去って行くと言った。

例えばピアノで和音を強く叩いたとして、その音は自然に消えゆくまでせいぜい長くて1分である。音の寿命が短いように、私たちの時間も、どんどん消えて行く。年を重ねる毎に本当に時間の経過が早く感じられてしかたがない。

しかしダヴィドは、続けて祈る。

願わくは我等に我が日を算うることを教えて、知恵の心を獲しめ給え(聖詠 89:12)

今年も音のように過ぎ去るだろう。しかし神に祈ることを忘れないでいたい。

祝讃聖誕と新年のご挨拶

執事長 アキラ 笹川 皓



救主のご降誕のお慶びと新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は皆様より多大なご支援・ご奉仕

を頂き、つつがなく正教会奉事を推進することができ感謝を申し上げます。数年続いているコロナ禍もなんとか終息しつつあり、諸祭事の祝賀会も復活し、皆様に和やかに過ごせるようになりました。

特に一五〇周年記念行事では皆様から貴重な資料を提供して頂き、改めて私達の教会の歴史を見ることが出来ました。

ご存じのように昨年から隣接の巨大ビルが建設中で、様々な障害が出ておりますが、もうしばらく継続します。駐車など若干不便になりますので、ご留意願います。聖堂・信徒会館もあちこち経年劣化・故障・取替などが続いております。

今年も多様化の時代が続きますが、皆様にとって実りある年になることを祈念いたします。

婦人会より新年のご挨拶

婦人会長 ウエラ 山中由美



新しい年が、喜びと平和に満ちたものになりますようお祈りします。

先の婦人会長ナデジダ清水彩子姉は昨年十一月ご主人の転勤のため富山に転居されました。清水姉のこれまでの献身的なご活動に深く感謝いたします。年度の途中ですが、私山中が婦人会長となりました。よろしくお願いいたします。

昨年婦人会は、様々な行事・奉事のお手伝い、オリガ水口敦子マトシカのお話の会(聖体礼儀の解説や聖名のお話など)、聖堂前のプランター管理などを行いました。今年と同様の活動に加え、楽しい交流の時間も持ちたいと考えております。何かご要望やアイデアがあれば、定例婦人会にご参加ください。

仙台教会の信徒として婦人会会員は共に手を携え信仰と絆を進めて参りたいと思います。これからも皆様の温かいご協力をお願い申し上げます。

新たな一年に向け聖歌隊として思うこと

聖歌隊 ニコライ本多弘明



主の御名によりて皆様のご平安をお祈りし、新年のお喜びを申し上げます。

昨年は、仙台正教会の開教百五十年を振り返り祝うことが出来た一年でもありました。こうして、教会の歴史を振り返る機会をいただけたことで、聖歌隊が聖歌の奉仕以外にも、様々な活動のお手伝いをさせていただいてきたことを改めて実感しております。

今年は、百五十年の次に続く時代の新たな年になる訳ですが、その「次代」が実り多いものになりますよう聖歌隊も一層前進を続けてまいりたいと思います。

幸いなことに、一昨年に続き、昨年も聖歌隊は新たなメンバーを迎えることが出来ました。いずれも、聖歌隊をさらに魅力あるものにしてくださる方たちです。こうした方々のお力もお借りし、新たな一年を充実したものにしていきたいと思っております。

扉を開いて

方舟会会長 イサイヤ 木村浩大



救主のご降誕をお祝いし、あわせて新年のご挨拶を申し上げます。

コロナもやや沈静化しており、教会でも、祝賀会の開催を再開しております。

例えば、祝賀会当日、午前10時聖体礼儀開始の場合は、方舟会では9時に集合し、祝賀会の会場設営を実施しております。参加人数にあわせ、出席者の皆様により快適に過ごせるよう、テーブル配置を工夫しながら設営しています。30分足らずの「わずかなご奉仕」ではありますが、男性信徒の皆様、こうした奉仕活動にご参加なさいませんか。

「ご奉仕することの喜び」を分かち合いつつ、婦人会で選んでくださる豪華な食事を一緒に味わいませんか。方舟会、高齢化が進んでおりますが、いまこそ、男性信徒の皆さん！「ご奉仕への扉」を開いて、一緒に教会を盛り上げていきましよう。

ツリー飾りと方舟会総会

イサイヤ 木村浩大



去る12月1日、代式祈祷終了後、恒例の「クリスマスツリー飾り付け」を実施しました。12名の参加でしたが、今回は、「安全第一、転落事故防止」を最大の課題とし、無事に事故なく、飾り付けを終了しました。老朽化による「電球破損」の問題はありました。老朽化による「電球破損」の問題はありましたが、できる範囲内で、例年どおり、飾り付けを行いました。

飾り付け終了後、方舟会総会を実施しました。昨年度も、「収入」が「支出」を上回り、十分な予備費(繰越金)もあることから、今年度の会費徴収は免除とするこ



「男性信徒は全員、方舟会員の認識を持っていただき、より多くの方々にご参加いただけるよう、機会があるたびにアピールしていく」という結論に至り、総会を終えました。

とを決定しました。
その後、活動方針について議論しました。「バザーへの取り組み方」から始まり、「方舟会行事全般」に話題は発展しました。「高齢化しているから何もやらない、何もできない」では、何も始まらない。「できる範囲内でも何かをやること」によって、はじめて、新会員を増やす機会となる」との意見が出されました。

主の降誕祭

12月15日(日)、祈祷後に降誕祭前の聖堂清掃奉仕が行われた。燭台の御磨きや窓拭き、床掃除と丹念に清掃が行われ、降誕祭を迎える準備を整えた。



12月22日(日)、降誕祭前の主日聖体礼儀後に、クリスマス祝賀会が開催された。早朝より方舟会が会場設営を行い、婦人会がオードブルや飲み物を準備した。祝賀会の司会はニコライ本多兄。アキラ笹川執事長の乾杯で始まり、お腹が落ち着いた頃、水口神父によるミニ講話とクイズが出された。プロジェクトを駆使したクイズでは、程よい頭の体操になった。ステファン高橋兄のフルート演奏、イオン高橋兄のマジックショー、ニコライ山田兄のギター伴奏と聖歌隊による

合唱といった恒例の余興も披露された。今年のメインイベントは、サンタクロースによるビンゴ大会。老眼が進んだサンタさんには小さいボールの数字が読みにくそうだったが(笑)、無事、全員に景品がいきわたった。

24日(火)の夕方6時から、降誕祭徹夜祈が行われ、祈祷後には聖堂前でホットワインやお菓子などがふるまわれた。



白河正教会だより

11月30日(土)、12月1日(日)にかけてダ

ヴィド水口神父が白河正教会を巡回し、暦の関係で少し前倒しとなったが白河聖堂の堂祭である生神女進堂祭を御祝いした。この日から降誕祭のイルモスが歌われ始め、降誕祭が待ち遠しい気持ちになる。

祭日聖体礼儀の後の勉強会では、生神女進堂祭に関連して、幼いマリヤが登った神殿の15段の階段と聖詠の「登上の歌」との繋がりから、「登上の歌」の中の第二百二十聖詠について詳しく学んだ。「我、目を挙げて山を望む」で始まるこの聖詠は、主の「助け」「救い」そして日常における「守り」が「山」からやってくると言っている。この「山」とは私たちにとっては「教会」を意味する。そして品第詞(第五調)第二倡和詞では「霊よ、山に上らん、彼處に往け」と言われている。



階段を登るマリヤ

中新田正教会だより

降誕祭

中新田正教会では、暦の関係および司祭のスケジュールの都合で一足早く降誕祭の奉神礼が行われ、12月20日(金)の夕方5時より祭日前晩祷が執り行われた。リテイヤにおいて五餅の祝福も行われ、参拝者全員の額に祝福の油が塗られた。祈祷後、祝賀会も開催され、水口神父による講話とクイズで大いに盛り上がった。

翌21日(土)には降誕祭の聖体礼儀を行い、ハリストスの降誕の意味をかみしめながら平安のうちに祈祷を終えることができた。



消 息

・永眠

十二月十一日

ペトル北浦 磐 兄(95歳)



永遠の記憶【中新田正教会】

1月聖名日 モレーベンのご案内

1月12日(日) 聖体礼儀後

今月の聖名日モレーベンは都合により第二日曜日に行います。



▲前駆授洗イオアン



▲聖カルテリイ

	聖名	氏名(敬称略)
1/1	ボニファティ(タルスの聖致命者)	鈴木勇司
1/4	アナスタシヤ(聖致命女解繫者)	山田三穂子、増子陽子
1/9	聖使徒聖致命者首輔祭ステファン	板橋勝一郎、後藤邦彦 今野芳明、高橋嘉彦
1/12	聖王ダヴィド【旧曆降誕祭後の主日】	水口優明神父、木村史之、若松亮一、 小堀一成
1/12	アニシヤ(ソルンの聖致命女)	横山夏実
1/13	メラニヤ(ロマの克肖女)	熊谷順子
1/14	聖大ワシリイ	伊藤亮介、大場 貴、鈴木孝治
1/15	ユリアニヤ(ラザレフスク)	鈴木一子
1/20	前駆授洗イオアン(会聚祭)	佐々木一志、清水 格
1/21	カルテリイ(神品致命者)	横山一平
1/25	タチアナ(ロマの聖致命女)	飯塚順子、遠藤好恵、菅原加奈 恩田貴子、寺嶋タチアナ
1/27	ニーナ (グルジャの教化者巫使徒聖女)	遠藤真理子、石山菜美、葛西いづみ 勝又冨、木村仁美、今野未来、松原ミエ 鈴木えみ子、太田さつ子



山下りんのアイコン

山下りんによるアイコンのカラー
写真が40頁に亘って掲載。

「山下りんのアイコン」 頒布献金二〇〇円

図書案内

全国宣教企画委員会発行

新年会 2025

久しぶりに仙台教会の新年会を以下のように開きます。
参加希望の方は1月19日までに
お申し込みください。

月日	2025年1月26日(日)
時間	12:30～
場所	飛天 Sendai Plaza Peking
会費	3,000円



執事会報告

令和六年12月3日(火)

14時〜15時10分 3階会議室

- 一、報告事項
- ・ピロティの照明のタイマースイッチ設置工事了

- ・東北北海道地区宗教法人実務研修会(盛岡)に水口神父参加。
- ・婦人会長の交代

ナデジダ清水水姉の転居のため、新たにウエラ山中姉が婦人会長となった。

- ・会計報告 一般/収益

定額献金57%、参堂献金59%、臨時献金91% 七十七銀行で定期預金通帳を新たに作成した。七つの証書定期のうち一つを新規定期通帳に入れなおした。残りは同じよう到来年5月の満期の頃に全部入れなおす予定。今まで「聖物等購入積立」として使用していた七十七銀行普通預金通帳の全額も定期に入れた。以後この普通預金通帳は「墓地管理」のための通帳として使う。

- 二、協議事項

(1)降誕祭について

・降誕祭祝賀会用の予算として15万円を婦人会に預ける。ビンゴの景品の清算もこの中から行う。

- ・イブの時に配布するカードを用意。
- ・外部への呼びかけポスターを掲示。
- ・水銀灯の土台が破損しているが、ライトアップも考える。

(2)神現祭について

聖水保管用のプラスチック製のウォタージヤグが劣化しているらしく匂いが気になったので、ステンレスのものを新しく購入する。

(3)新年会について

コロナ禍を過ぎたため、「新年会」再開の声があり、検討し、決定したら会報に案内を載せる。

献金報告 (6.11.24~6.12.24)

○聖堂献金 八万三千八百八十六円

○百五十年祝金

東海林としえ(東京)

長尾善一郎(東京)、水口敦子

山田弘子

岡多喜子

佐崎愛、木村良治、勝又禮子

野村とも子、佐藤幸子、村井恵子

○感謝献金

今川善英

遠藤守、熊谷経光

○聖名祭感謝献金

本多弘明、山田喜美雄、高橋聡樹

高橋文彦

○降誕祭献金

木村幸子(東京)

木村憲治

木村良治・浩大、入野武彦、土田定克、渡辺ひろ子、大場うめ子、山野辺隆二、山田喜美雄、岡崎たい子、コマロフ・セルゲイ

菅原きみ子

高橋聡樹

鈴木三千代、本多弘明、本多弘子、服部幸枝、八文字積子、太田信、太田ちえ子、村井恵子、増子陽子、早坂盤、千葉温、水口敦子、勝又禮子

山田弘子、山中由美、山寺しちよ、笹川皓、笹川純子、佐藤由枝、熊谷道子、熊谷経光、岡多喜子、遠藤正義、永元道子、永元亜紀子、井戸久未子、伊藤光子、佐藤幾久子、鈴木えみ子、秋保明、長尾善一郎、山本理恵子、高橋清太、大立目謙直、横山昭・渉

早坂清人、遊佐なみ子、遊佐珠子、平塚清、平塚喜美子、渡辺幸子、瀬戸まみ、山田廣志、高橋哲郎輔祭、高橋紀武、高橋嘉彦、高橋ゆり、葛西弘子、恩田修、及川聡子、佐々木隆新沼大明

大泉巖、菅原伸之、山田恵津子、佐治美智子、高橋文彦、吉田光一、岡潔、岡崎文子

○パニヒダ献金

平塚裕(40日祭)

大場うめ子(40日祭)

横山昭・渉

勝又禮子、四津純、永元道子

笹川皓、佐治美智子、岡多喜子

遊佐なみ子、本多弘明

飯塚順子、高橋紀武、岡崎雄俊

※敬称略



1月行事・奉事予定

- 1日(水) 新年の感謝祈禱 (深夜0時)
新年の感謝祈禱 (午前11時)
- 4日(土) 徹夜禱はお休みです 第3調
- 5日(日) 第28主日代式祈禱 (10時30分)
書札 コロサイ 3:12・18
福音 ルカ 14:16・24
- ※クリスマス・ツリー片付け
- 聖堂清掃奉仕の日
- 4~5日水口神父白河正教会出張
- 4日(土) 18時 降誕祭徹夜禱
- 5日(日) 10時 主の降誕祭聖体礼儀
- 7日(火) 定例執事会 (14時)
- 11日(土) 主日徹夜禱 第4調 (17時)
- 12日(日) 神現祭前の主日聖体礼儀 (10時)
書札 テイモフエイ後 4:5・8
福音 マルコ 1:1・8
- ▼聖名日・二十歳モレーベン
- 月例パニヒダ
- ◎婦人会・方舟会
- 12日(日) 中新田正教会・代式祈禱 (10時)

- 14日(火) 祭日徹夜禱 (17時)
主の割礼祭・聖大ワシリイ祭
聖体礼儀 (9時)
- 18日(土) 祭日徹夜禱 第5調 (17時)
- 19日(日) 神現祭聖体礼儀 (10時)
書札 テイト 2:11・14、3:4・7
福音 マトフエイ 3:13・17
- ❖大聖水式
- 24~25日水口神父中新田正教会出張
- 24日(金) 16時 勉強会 / 17時 前晚禱
- 25日(土) 10時 祭日聖体礼儀
大聖水式・月例パニヒダ
- 26日(土) 主日徹夜禱 第6調 (17時)
- 25日(日) 神現祭後の主日聖体礼儀 (10時)
書札 エフエス 4:7・13
福音 マトフエイ 4:12・17
- ◎仙台正教会の新年会 (ミニ講話)



神現祭は暦通り1月19日(日)にお祝いたします。神現祭の聖体礼儀に引き続き「大聖水式」を行います。各自、専用の聖水容器をご持参の上、ご参禱ください。

1月の予定

- 【聖堂清掃奉仕】 →5(日)
- 【婦人会・方舟会】 →12(日)
- 【ミニ講話】 →26(日)
- 【新年会】 →26(日)
- 【聖歌隊練習日】 →5(日)、
12(日)【発声】、19(日)
- 【伝道会18時~】 8(水)、15(水)、22(水)
(1(水)と29(水)は都合によりお休み)



二十歳のモレーベン

2025年1月12日(日)
聖体礼儀の後、聖名祭と併せて
二十歳の感謝祈禱を行います。

※該当の方は
仙台教会まで
お知らせください

婦人会・方舟会より

○1月5日(日)祈禱後に
クリスマスイルミネーションや
ツリーの片づけ作業を
行います。皆様のご奉
仕をお願いします。

